

# 双塔



新潟教会 2014年11月

No. 318

## 祖父の自慢話

主任司祭 ラウル・バラデス

この間、姉との電話で父側の祖父の話が出てきました。姉は殆ど覚えていないということでした。

金婚の祝いしか思い起こさないそうです。

二人とも少しい悲しくなったが、姉より四つ下なのに私のほうが色んなエピソードを記憶しています。なぜだろうか。

「あなたは子どものときから年寄の話を聴くのが好きだった」とキッパリと姉が断言しました。

確かにそうでした。何回も同じ自慢話を聞いても飽きないで、両側の祖父と楽しい、長い時間を過ごした思い出があります。

祖父たちの話し相手に慣れたお陰で歴史と伝統の大切さが身につけられたと思います。

現代日本には人口減少の結果で引き継がれていない職人の技、各業界の後継者不足は社会問題になっています。

新しい時代を追いかけてきた私たちは一瞬止まって、呼吸する必要が感じられているような気がします。言う必要もなく、人間は伝統と歴史を聴くことによって、先人が重んじてきた価値観と生き方を身につけ、より良くして今の時代のチャレンジに応えることができます。

新潟にあるこの小さな教会も例外ではありません。何時から、どこまで根をおろして、どこに立っているかをしっかりと意識する必要があるに違いない。根のない木は育たないからです。

今回の巻頭言から明治時代の新潟教会、つまり信仰により私たちの祖父たちの話しを皆さんと一緒に聞いてみたいです。

停電で、テレビと携帯が使えない夜を覚えていますか。そういうときにこそ、昔の人の話は楽しかったでしょう。暗い現在の中に過去からヒントを得て、明るみが戻ったときに元気づけられて生活を送るようになるのではないかと。しっかりと根を降ろして、肥料なり、消化した栄養になった伝統と歴史から力を得てこの地に実を結ぶために働きましょう。

「伝統（伝承）とは死んだ人から引き継がれた生き生きした信仰に他ならない。」と何処かで聞いた覚えがあります。

そう思いませんか？



# そよかぜ便り



## ■年間第 27 主日 ----- 10月5日(日) -----



10月は“ロザリオの月”。1日、教皇フランシスコは一般謁見で「聖母マリアのまなざしで、イエスとその母、聖母マリアの生涯を見つめ、黙想するように」と話された。新潟教会でも、毎週主日のミサ前に、ルルドの前で“ロザリオの祈り”が捧げられた。最初の日曜日は、肌寒さも気持ちよく、洞窟の蔭が少し色づいて、見上げると抜けるような青空が広がっていた。この日から、バチカンでは、シノドス(世界代表司教会議)が始まり、

今回のテーマは「福音宣教の観点から見た家庭の司牧的課題」とし、19日まで行われた。

## ■高藪神父様司祭叙階 50 周年記念ミサ・祝賀会

----- 10月13日(月) 午前10:00~ -----

1964年3月20日、司祭に叙階されたペトロ高藪 修 神父様の司祭叙階 50 周年のお祝いが、高田教会を会場に行われた。折からの台風の接近で、名古屋方面からの方々は来場できなかったとのことだが、神父様がかつて主任司祭を務められた花園教会や青山教会など各地から多数が高田に集った。高藪神父様は 50 年前の新潟教会での叙階式の時に着衣された祭服を着用して記念ミサに臨まれた。ミサの最後には霊的花束の贈呈も行われ、新潟教会からも霊的花束が贈られた。

## ■信仰養成講座 第一回目 ----- 10月18日(土) 午後13:30~ -----

今年の信仰養成講座は、教皇フランシスコの使徒的勧告『福音の喜び』をテーマに、新潟地区協と新潟教会が共催。講師は菊地司教様で、実際にお会いした教皇様の素顔も交えながら、この使徒的勧告の概要を紹介。教皇フランシスコのお考えでは、神の愛と慈しみはすべての人に向けられており、誰一人としてそこから排除されたり、忘れられたりしてよいはずがない。とかく規則や倫理で人を裁き、そこから外れたものを排除する傾向が強かったが、神が際限なく愛と慈しみを注ごうとしておられるのに、それを教会の組織が妨げることになってはならない。これは普遍教会だけでなく、私たちにとって身近な小教区共同体においても、その在り方を振り返る必要がある。特に優先されるべきは貧しい人々である——などの点を指摘された。会場からは、信徒も司祭も高齢化している現状でどうしたらよいのか、とか、「貧しい人々」とは具体的にどういった状況を言うのか、などの質問が出された。なお『福音の喜び』をお持ちの方は特に14、15、20項および43項とその前後を一読されたい。

### 《2014年 11月の聖書クラス・信仰講座のご案内》

曜日	時間	内容	担当司祭
月曜日(不定期)	午前10:00~	キリスト教のQ&A	三崎神父
水曜日(毎週)	午前10:00~	聖書クラス	ラウール神父
木曜日(毎週)	午後19:30~	キリスト教入門	ラウール神父
第2土曜日	午前10:00~	第二バチカン公会議の学び	ラウール神父

※月曜日の「キリスト教のQ&A」は開催できない日がありますので、お問い合わせください。

※講座に参加される方は、担当司祭にご連絡ください。

カトリック新潟教会 月刊「双塔」 毎月1回 最終日曜日発行 編集・発行 / カトリック新潟教会 教会運営委員会 広報部

〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町 656 TEL: 025-222-5024 FAX: 025-222-5054 <http://www.niigatacathedral.org>

